第３５回大阪大学サイバーメディアセンター全国共同利用運営委員会議事要録

日　時：令和２年１２月２４日（木）１０：００～１１：０５
場　所：大阪大学サイバーメディアセンター吹田本館２階大会議室
出席者：下條センター長、小林、岡部、松本、林、安達、兒玉、中野、降籏、猪俣、菊池
欠席者：西崎、松岡

議　事

（審議事項）

１．令和元年度実績に係るサイバーメディアセンター達成状況評価について

計画評価担当理事により取りまとめられた「令和元年度実績に係る部局評価書（案）」について、資料１に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

その後、各機関の評価制度について種々意見交換が行われ、女性研究者増加に向けてのクロス・アポイントメントの活用などについて情報交換が行われた。

（報告事項）

１．業務報告

（１）大規模計算機システムの稼働状況について

標記のことについて、資料２に基づき稼働状況等の報告があり、京が停止中はＳＸ－ＡＣＥ及びＯＣＴＯＰＵＳが代替機として使用されたことなどに伴い、特にＯＣＴＯＰＵＳは高い利用率で推移している旨の説明があった。

（２）新型コロナウイルス感染症への対応について

表記のことについて、資料３に基づき報告があり、新型コロナウイルス感染症対策の研究を促進するため、本学ではＳＸ－ＡＣＥに加え昨年度末でサービスを終了していたＶＣＣを再配備した旨の説明があった。

２．事業報告

（１）学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点の活動状況について

標記のことについて、資料４に基づき報告があり、公募課題の採択状況について説明があり、次年度の積極的な応募について案内があった。

（２）ＨＰＣＩの現状について

標記のことについて、資料５に基づき報告があり、「富岳」成果創出加速プログラム課題及び、産業利用課題などについて説明があった。

（３）第２６回スーパーコンピューティングコンテスト及び「高校生・高専生「富岳」チャレンジ」について

標記のことについて、資料６に基づき報告があった。

今年度は新型コロナウイルスの影響により本選が中止となったが、理化学研究所の「富岳」とスパコンコンテストのコラボレーションイベントとして、スパコンコンテスト本選出場校を対象として、「富岳」を体験するイベントを開催した旨の報告があり、今後の展開について説明があった。

３．委員会報告

（１）全国共同利用情報基盤センター関係

① 第３５回・第３６回全国共同利用情報基盤センター長会議（５月２９日・１０月２９日開催）

標記のことについて、資料７に基づき議事内容等の報告があり、新型コロナウイルスへの各機関の対応状況及び東京大学が主導するｍｄｘの状況、ＨＰＣＩの今後の整備運用計画等について情報共有があった。

② 第３１回・第３２回・第３２回学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点運営委員会（２月７日・７月９日・１０月２９日開催）

標記のことについて、資料８に基づき議事内容等の報告があった。

③ 第３２回・第３３回認証研究会（３月１３日・１０月１日開催）
標記のことについて、資料９に基づき議事内容等の報告があり、コロナ禍における対面認証の今後について意見交換を行った。

④ 第８４回・第８５回コンピュータ・ネットワーク研究会（３月１３日・９月２５日開催）
標記のことについて、資料１０に基づき議事内容等の報告があり、本学における情報セキュリティに係る e-learning 未受講者への対応等について紹介があった。

⑤ 第１５回・第１６回クラウドコンピューティング研究会（３月１３日・９月２５日開催）
標記のことについて、資料１１に基づき議事内容等の報告があり、データのバックアップ等、本学のＢＣＰ対策及び機器更新について説明があった。

⑥ 国立大学共同利用・共同研究拠点協議会総会（１２月４日開催）
標記のことについて、資料１２に基づき議事内容等の報告があり、共同利用・共同研究拠点の第３期中期目標期間における期末評価と時期認定、及びネットワーク型拠点の今後の在り方について文科省説明の情報共有があった。

（２）サイバーメディアセンター関係
① 高性能計算・データ分析基盤仕様策定委員会（９月１８開催）
標記のことについて、資料１３に基づきＳＸ－ＡＣＥのリプレイス及びプレスリリースについて説明があり、新システムのクラウド活用について意見交換を行った。

４．その他
（１）次回の全国共同利用運営委員会は、別途日程照会をしたうえで決定する旨発言があった。